

流域自治体との情報共有の強化～専用回線の接続～

背景

- H24九州北部豪雨、H26広島市土砂災害・京都府福知山災害など豪雨災害の恐れ
- 流域22市町村との大規模災害時応援協定締結や水防法改正による流域自治体との連携強化

流域住民の安心・安全のためには河川管理者と流域自治体の情報共有が不可欠

流域自治体との情報共有の現状

- 電話、FAX(伝達に時間が掛かる)
- インターネット(一般公開と同レベル)
 - …雨量・水位情報 約10分遅れて表示
 - …カメラ映像 管内20台の静止画像(10分更新)

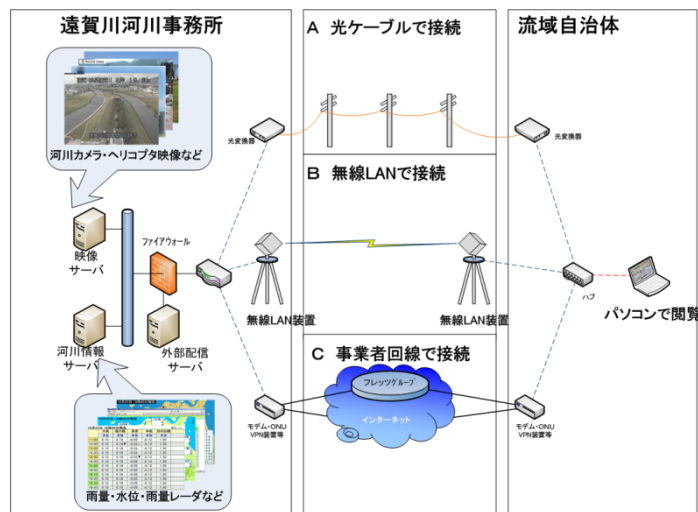
リアルタイムの状況をイメージしなければならない

流域自治体と専用回線を構築し情報共有を強化

接続の効果

- 雨量・水位情報 最新データが約2分で表示
(遠賀川河川事務所と同レベル)
- カメラ映像 管内148台の動画像を任意選択閲覧
- 遠賀川河川事務所－自治体とのファイル共有

流域防災力の向上



状況(H27.3.20現在)

完了 直方市、小竹町、芦屋町、
田川市、中間市、遠賀町
宮若市、水巻町、添田町
糸田町

その他、接続に向け協議中

※北九州市は九州地方整備局と別途接続済み